

電機・情報ユニオン

2013年9月10日 第24号
 発行 **電機・情報ユニオン**
 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3
 エムエフ新橋601
 Tel&Fax 03-6450-1777
 Email: denkiunion@gmail.com

職場、全国で反撃のたたかい 雇用と地域経済を破壊するルネサスリストラ

雇用と地域経済を破壊するルネサスリストラに對して、反撃のたたかいが職場から、全国から起こってきています。

相談から仲間への声

8回も面談を強要されている。事業上解雇(整理解雇)は、どのようしたら回避できるのでしょうか。工場閉鎖の関連情報を教えてください。などの相談や問い合わせが、電話やメールで相次いでいます。

それに応えて、交流&相談&検討会」を大勢の参加で3回開催しました。会には、代々木総合法律事務所の見賢一郎弁護士、桜美林大学の藤田実教授、共産党国会議員秘書にも出席いただき、相談者の不安や疑問に答えています。

相談者は、貴重な話が聞くことができた。職場の人にも、伝えたい。など、職場での仲間づくりも開始されています。

職場から退職強要に反撃

Aさんは、上司との2回の面談で、応じなければ



8月17日(土) 第2回・交流&相談&検討会

ば事業上解雇がある。など、10数回も事業上解雇で脅かされました。Aさんは、労使合意に違反すると労働組合に告発しました。労働組合は会社に抗議を行い、退職強要の面談は無くなりました。

8回の退職強要の面談を受けたBさんは8月21日(水)、神奈川県労働局に労働局長の助言・指導申出票」を申請しました。神奈川県労働局は翌日の22日(木)、事業所の人事に対して判例をまじえて啓発指導を行い、Bさんへの退職強要は無くなりました。

AさんやBさんの行動は、事業所全体にも影響を与えています。

工場閉鎖計画の撤回を

8月5日(月)に開かれたルネサスグループ労使協議で、突然の閉鎖計画を受けた鶴岡工場、甲府工場、滋賀工場の関係労組委員長は、突然の方向変更は納得できない。T80度異なる発表で会社に裏切られた思い。関西の存続を信じていた」と会社方針の撤回を求める発言を行いました。

電機・情報ユニオンは工場存続の運動を進めるため、該当の県労連や共産党県委員会への報告と相談会に取り組みました。8月26日(月)には滋賀、27日(水)には東京地評、28日(木)には山梨、29日(木)には埼玉県労連、9月4日(水)には神奈川県労働局と行いました。

7事業所で宣伝行動

職場の労働者を励ましているのが、ルネサス懇ビラ11号とリストラ反撃全国ビラ」の配布・宣伝行動です。

8月19日(月)の玉川事業所を皮切りに、武蔵

事業所、RMS横浜、本社ビル、那珂工場、鶴岡工場、高崎工場の7事業所で行い、合計3027セットを配布しました。

運動のこころの前進を

早期退職への応募者は、会社発表で大幅未達の状況」となっており、追加募集が9月11日(水)〜18日(水)で行われます。さらには、会社は追加募集の進捗を踏まえて、やむを得ず、事業上解雇を実施する場合は、9月末までに申し入れる予定」です。

職場での取組み、宣伝行動、行政機関への働きかけなどの運動を、友誼団体の支援を受けていっそう強めていきます。

第24号の紹介

- 1面 職場、全国で反撃のたたかい
- 2面 ルネサス山形鶴岡工場の存続を大会議案を活発に論議東京支部
- 3面 天神祭で花火見物 関西地本高田さんを励ます集い 米田委員長メッセージ②⑩
- 4面 交流のひろば、告知板